

# 救命救急センター

当部署は重症管理病棟、COVID病棟・初療を兼任

**【救命救急センター(4階)28床 施設基準4:1】**

重症呼吸器疾患・脳血管疾患・心疾患・急性薬物中毒

高エネルギー外傷・広範囲熱傷等

幅広い病態知識と経験、技術が学べます。

**【ER-HCU(1階)12床】**

主に中等症～重症のCOVID-19患者の受け入れをしています。



## 【初療(ER : Emergency Room)】

断らない救急を理念に、医師・救急救命士と連携し  
1～3次の救急搬入患者を受け入れています。

2019年12月に京都府初のハイブリッドERが完成  
救急外傷外科医師を中心に外傷にも力を入れています。  
2021年の救急搬入件数は7900件にのぼります。



# チーム医療の確立・質向上

## 多職種連携で質の高い医療・看護の提供

★救急部門の特徴的な多職種連携

早期リハビリ・早期栄養介入・COVID対応・HERS

PT・ST・臨床工学技士・救急救命士・栄養士との連携で  
合併症予防とQOLの向上

★タスクシフト

救急救命士との連携：入院説明・患者移送

今後の展望：静脈注射関連・輸血、管理薬剤関連



## 看護の質向上：経年別の取りくみの一例

卒後2～3年目 ケーススタディ発表会

